

平成 29 年度

産業観光局運営方針

目次

| | | |
|----------------------------|-----|----|
| 1 平成 29 年度 産業観光局の政策・施策推進方針 | ・・・ | 1 |
| 2 平成 29 年度 産業観光局運営の総括表 | ・・・ | 3 |
| 3 平成 29 年度 重点取組の概要 | ・・・ | 5 |
| 4 平成 29 年度 予算の概要 | ・・・ | 11 |

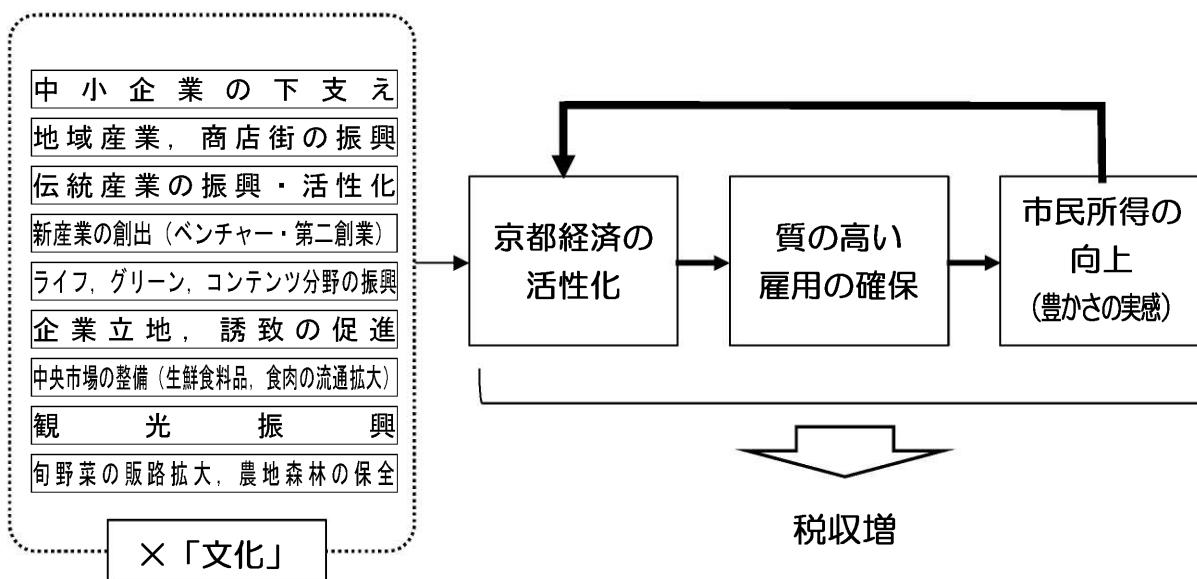
1 平成29年度 産業観光局の政策・施策推進方針

(1) 目指す姿（地域経済発展のフローの実現）

産業観光局では、平成28年3月に策定した「京都市産業戦略ビジョン」に基づき、産業の振興を通じて社会課題の解決や都市の魅力創造を実現できるよう、様々な施策を推進しています。

平成29年度においては、文化庁の京都への全面的な移転決定を契機として、中小企業の支援や伝統産業の活性化、新産業の創出、観光振興、農林振興など、局内のあらゆる取組を、「文化」と掛け合わせて推進します。

これにより、京都経済を活性化し、質の高い雇用の確保や市民所得の向上によって、市民の皆様が豊かさを実感できる社会を実現し、さらには、好循環で自律的な地域経済発展のフローを生み出していくことを目指します。

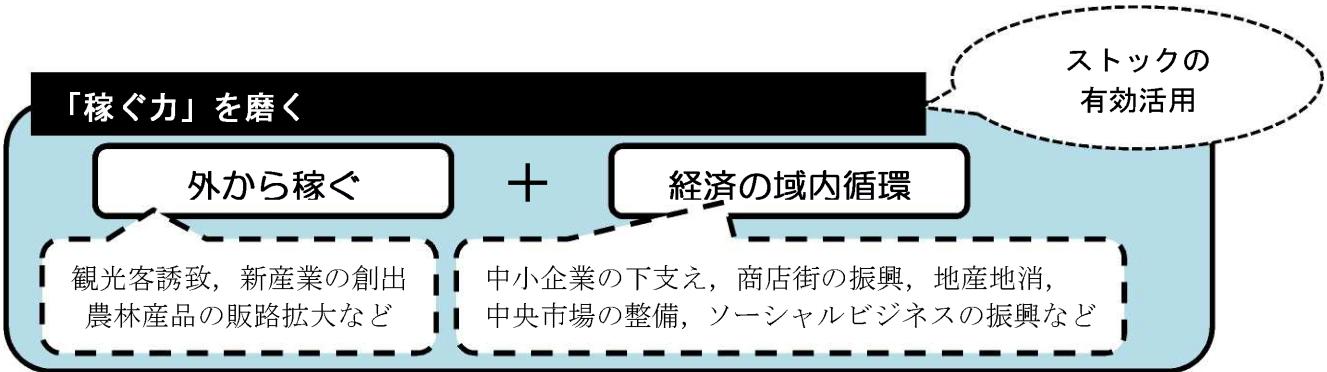


(2) 各政策分野を超えた横ぐし

「『稼ぐ力』を磨く」、「働き方改革」を、全ての政策分野に共通する「横ぐし」として推進します。

① 「稼ぐ力」を磨く

観光客誘致や新産業の創出、市内で生産された農林產品の販路を拡大する取組等で、京都経済の「外から稼ぐ力」を向上させると同時に、中小企業の下支えや商店街の振興、地産地消、中央市場の整備、ソーシャルビジネスの振興等、地域経済に根付いた取組を進めることで、「外からの稼ぎ」が、確実に京都経済の拡大につながる「域内循環」を構築します。



②働き方改革

あらゆるひと（生活者、経営者、雇用者）にとって、人間らしい生き方、暮らし方ができる幸せな社会の実現を「目指す姿」として、経済界と連携し、人を大切にする京都ならではの働き方改革を推進します。

具体的には、長時間労働の是正や不本意な非正規雇用の解消、ブラック企業、ブラックバイトの根絶はもとより、「家族や地域を大切にする」、「暮らしに息づく生活文化を見直す」といった価値観を市民や経済界の皆様と共有し、京都から新しいうねりを作り、全国に波及できるよう発信していくことを目指します。

働き方改革～京都から新しい「うねり」を作り出す～

スピードインパクト

【目指す姿】あらゆるひと（生活者、経営者、雇用者）にとって、人間らしい生き方、暮らし方ができる幸せな社会の実現

人間らしい生き方・暮らし方へ「人を大切にする京都ならではの働き方改革」
経済界とともに、長時間労働の是正、不本意非正規雇用の解消、ブラック企業・ブラックバイトの根絶など、「人を大切にする」京都ならではの働き方改革に取り組む。

■京都から全国に波及できるような京都モデルを市民・経済界とともに発信

「家族を大切に」、「地域を大切に」、「絆を深める」、「文化芸術に親しむ」、「暮らしに息づく生活文化を見直す」などの「価値観」を、市民、経済界と共有

(3) 職員力・組織力の向上

①情報収集・情報発信

時勢を捉えた正しい情報に基づいて、的確な政策判断につなげていくことができるよう、情報収集は、産業観光局の「生命線」と位置づけ、一人ひとりの職員が広くアンテナを張り、自ら迅速に情報を取りに行く姿勢を重要視します。

また、徹底して市民目線に立った分かりやすい広報や普及啓発に努め、「伝える力」を磨くことで、市民の皆様と問題意識を共有し、「みんなごと」として、様々な関係団体、企業等と共に解決していく仕組みづくりを進めます。

②働きやすい職場づくり

内部事務の合理化、効率化等によって「働き方改革」に率先して取り組みます。また、適正な業務遂行の徹底やコンプライアンスの遵守によって、働きやすく、いきいきとした職場づくりを組織的に推進し、「仕事の質」の向上につなげます。

2 平成29年度 産業観光局運営の総括表

| 基本方針・重点方針 | 平成29年度重点取組 | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|------------|
| | 取組名 | 目標 | 計画・条例等 | 所属等 |
| 「京都の未来へ」 ～50年先、100年 先の京都を見据えて～ | 1 「京都経済センター」（仮称）の整備 | ・適切な工事の遂行・進捗管理 ・竣工後の京都経済センター（仮称）機能の検討 | はばたけ未来へ！京プラン | 産業政策課 |
| | 中央市場の整備 | | | |
| | 2 （京都市中央市場施設整備） | ・綜合、水産部門等の仮設移転 ・水産事務所棟解体工事 ・花屋町立体駐車場棟建設工事 ・水産棟改修実施設計 | 京都市中央市場施設整備基本計画 京都市中央卸売市場第一市場マスター プラン（平成28年度版） | 中央市場第一市場 |
| | （京都市中央市場（食肉市場）施設整備） | ・整備工事の推進及び新施設の稼働に向けた諸準備の着実な実施 ・速やかな輸出認証取得に向けた事前準備 | 京都市中央卸売市場第二市場「京ミートマーケット」マスター プラン | 中央市場第二市場 |
| | 3 中小企業未来力創出支援事業 | ・新事業アイデアの試行実施補助件数：3件 | はばたけ未来へ！京プラン | 中小企業振興課 |
| | 4 未来の京都の成長・発展を支える学術研究・先端産業等用地の新たな創出 | ・久我の工業専用地域における新たな産業用地の早期創出 ・産業集積のあり方の検討や新たな産業用地の候補先の抽出 | はばたけ未来へ！京プラン 京都市産業戦略ビジョン | 新産業推進室 |
| | 5 京都市版DMOの体制構築 | ・京都にふさわしいDMO組織の構築 | 観光振興計画2020 | 観光MICE推進室 |
| | 6 京都市宿泊施設拡充誘致・温泉観光推進 | ・宿泊施設拡充・誘致方針の推進 ・温泉施設の利用者数：前年度以上 | 宿泊施設拡充・誘致方針 観光振興計画2020 | 観光MICE推進室 |
| | 7 「民泊」対策 | ・安心安全が確保され、地域と調和した「民泊」の推進 | はばたけ未来へ！京プラン | 観光MICE推進室 |
| | 8 集中的な森林整備に向けた新たな仕組みづくり | ・集中的な森林整備の実施に向けたモデル地区の選定及び調査 | 京都市農林行政基本方針セカンドス テージ | 林業振興課 |
| 「内外への情報発信」 ～京都の魅力を世界に向けて～ | 1 「京都館」移転の推進 | ・移転候補物件の選定 ・モデル事業の実施 | はばたけ未来へ！京プラン | 産業政策課 |
| | 2 伝統産業製品の販路開拓支援～パリ友情盟約締結60周年ブレ事業～ | ・新商品の開発 ・国際見本市への出展・展示商談会の開催 ・パリ市友情盟約締結60周年を見据えた国際シンポジウム開催による海外販路の拡大及び参画事業者の売上向上 | 第3期京都市伝統産業活性化推進計画 | 伝統産業課 |
| | 3 「京の技展（仮称）」の開催支援 | ・職人の実演や製作体験など、伝統的な匠の技とものづくり技術に触れることができる展示・販売会の実施 | 第3期京都市伝統産業活性化推進計画 | 伝統産業課 |
| | 4 京都伝統産業ふれあい館のリニューアル事業 | ・基本計画及び実施計画の策定 | 第3期京都市伝統産業活性化推進計画 | 伝統産業課 |
| | 5 MICE戦略2020推進事業 | ・国際会議の開催件数：前年以上 | MICE戦略2020 | 観光MICE推進室 |
| | 6 京都遺産・伝統文化・匠の技体験型ツアー拡充事業 | ・京都の奥深い魅力を堪能できる新たなコンテンツの発掘・磨き上げ | 観光振興計画2020 | 観光MICE推進室 |
| | 7 京都の文化資源の魅力発信事業 | ・京都の文化資源の活用をテーマとした幅広い層の観光客の誘客と分散化 | 観光振興計画2020 | 観光MICE推進室 |
| | 8 「マンガ」を通じた三大祭等の魅力発信 | ・幅広い層に対する祭の本質的魅力発信とその背景にある文化の継承 | 観光振興計画2020 | 観光MICE推進室 |
| | 9 混雑緩和に向けた啓発策 | ・関係者と協働した観光バス対策の実施 | 観光振興計画2020 | 観光MICE推進室 |
| | 10 「世界文化遺産と盆栽・水石展（仮称）」の開催支援 | 来場者数：10,000人 | — | 農業振興整備課 |
| | 11 京都発！日本の食文化発見・発信 「お雑煮」と「京野菜」の食文化フェア（仮称） | 来場者数：30,000人 | — | 農業振興整備課 ほか |
| | 12 北山丸太販売拡大・ブランド強化事業 | 首都圏での展示商談会への参画 建築士会全国大会への参画 | 京都市農林行政基本方針セカンドス テージ | 林業振興課 |

| 基本方針・重点方針 | 平成29年度重点取組 | | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|---|--|---------|
| | 取組名 | 目標 | 計画・条例等 | 所属等 |
| 「育成」 ～まち・ひと・しごと づくりの推進～ | 1 京都中小企業担い手確保・定着支 援事業 | ・京都市内の中小企業への就職者数：15 0人（年） | はばたけ未来へ！京プラン | 産業政策課 |
| | 2 観光関連産業安定雇用促進事業 | ・京都市内の観光関連産業への正規雇用就 職者数：25人（年） | はばたけ未来へ！京プラン | 産業政策課 |
| | 3 京都市ソーシャル・イノベーショ ン・クラスター創造事業の推進 | 「これから1000年を紡ぐ企業認定」にお ける認定企業数：5社 | 京都市ソーシャル・イノベーショ ン・クラスター構想 | 産業政策課 |
| | 4 中小企業承継支援体制の強化 | ・事業承継成約件数：15件 | はばたけ未来へ！京プラン | 中小企業振興課 |
| | 5 まち・お店・ひと 縁結びプロ ジェクト | ・市内の空き店舗の解消数：10件 ・商業者の取組参加者数：16人 | はばたけ未来へ！京プラン | 商業振興課 |
| | 6 新たな価値の創造による「知恵産 業」推進事業 | ・ものづくり（ハードウェア）ベンチャー 戦略拠点の設置 ・IoTビジネスに関する相談窓口の設置 | はばたけ未来へ！京プラン | 新産業振興室 |
| | 7 ライフサイエンスベンチャー創出 支援事業 | ・ベンチャー企業に係る支援：3件 | はばたけ未来へ！京プラン 京都市ライフイノベーション推進戦 略 | 新産業振興室 |
| | 8 国際マンガコンテストの開催 | ・応募作品数：200件 | はばたけ未来へ！京プラン 京都市コンテンツ産業振興に向けた 指針 | 新産業振興室 |
| | 9 海外とのビジネス交流を促進する 地域間交流支援事業 | ・交流先の基礎調査や研究会の開催等によ る、京都企業の市場開拓に向けた取組の実 施 | — | 新産業振興室 |
| | 10 「京都 京北未来かがやきビジョ ン」の推進 | ・アユの産卵床の発見：1箇所以上 | 京都 京北未来かがやきビジョン | 農業振興整備課 |
| | 11 農業集落排水処理施設最適整備構 想の策定 | ・施設の長寿命化及び計画的かつ効率的な 施設運営に向けた維持補修計画の策定 | 京都市上弓削農業集落排水処理施設 条例 | 農業振興整備課 |
| | 12 北部山間地域活性化プロジェクト | 地域住民等と連携した北部山間地域特產品 の再生に向けた環境整備 | 京都市農林行政基本方針セカンドス テージ | 林業振興課 |
| | 13 木材乾燥施設整備支援 | 木材乾燥施設の整備 | 京都市農林行政基本方針セカンドス テージ | 林業振興課 |

3 平成29年度 重点取組の概要

(1) 「京都の未来へ」～50年、100年先の京都を見据えて～

50年、100年先も、京都が都市の活力にあふれ、さらに飛躍していくことができるよう、中長期的な視点から、京都の未来につながる産業活動の基盤づくりに取り組みます。

①「京都経済センター」(仮称)の整備【産業政策課】

京都の経済団体等と共に中小企業支援機能を一同に集積させることで、オール京都の総合力を発揮する京都経済センター(仮称)の整備を進める(平成31年4月オープン予定)。

また、様々な知恵が融合し、新たな価値を生み出す「交流と融合」の拠点として、京都の産業全体を俯瞰した施策やにぎわいの創出を図るべく検討を進める。



京都経済センター(仮称)竣工パース

②中央市場の整備

ア 京都市中央市場施設整備【中央市場第一市場】

今後も市民を中心とした消費者に安全・安心でおいしい青果物や水産物をはじめとする生鮮食料品等を安定的に提供するとともに、「和食」さらには「京の食文化」の発展を支えていくため、施設の機能強化に向けた市場の再整備を推進する。

29年度は、水産部門の仮設移転先等として活用する花屋町駐車場棟の建設や賑わいゾーン整備に向けた水産事務所棟の解体等に取り組む。

イ 京都市中央市場(食肉市場)施設整備

【中央市場第二市場】

京都市とその周辺における食肉流通の要であり、また、「安全・安心・良質」な食肉を安定して供給する拠点である中央市場(食肉市場)について、京都肉をはじめとする全国のブランド和牛の海外輸出推進などの機能をもった新施設の整備を行う。



現在の中央市場第一市場



中央市場第二市場竣工パース

③中小企業未来力創出支援事業【中小企業振興課】

「京都市中小企業未来力会議」において、中小企業のニーズを幅広く収集し、政策に結びつけるとともに、異業種連携から生まれた新事業のアイデアについて試行実施を支援することで、中小企業が持つ未来を切り拓く力を最大限引き出し、新たなビジネスモデルの創出を図る。



第1回京都市中小企業未来力会議

④未来の京都の成長・発展を支える学術研究・先端産業等用地の新たな創出

【新産業振興室】

久我の工業専用地域において、企業立地促進制度の充実、土地所有者奨励金制度の創設など、企業誘致及び用地創出を推進する取組を実施する。

また、京都の未来を見据えてより中長期的な観点から、市内全域を視野に一定規模の用地について幅広く、あらゆる可能性を探りながら、未来の京都の成長・発展につなげるための有効活用に向けた検討を行う。

⑤京都市版DMO体制の構築【観光MICE推進室】

本市の基幹産業であり、他の産業への波及が大きい観光関連産業の更なる振興に向け、平成28年度に日本版DMO候補法人として登録された公益社団法人京都市観光協会を中心に、日本の観光立国を牽引し、未来の京都観光をリードする観光振興体制を構築・推進する。

＜参考＞DMOとは…

- Destination Marketing/Management Organization の略
- 「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす組織

⑥京都市宿泊施設拡充誘致・温泉観光推進【観光MICE推進室】

宿泊施設拡充・誘致方針に基づき、「旅館・ホテル等拡充総合窓口」の設置や、「上質宿泊施設誘致制度」、「表彰制度」の創設、旅館の利用促進に取り組む。また、温泉観光の活性化に向けて、民間事業者と連携した温泉施設の利用促進対策を実施する。

⑦「民泊」対策【観光MICE推進室】

地域と調和した宿泊観光の向上に向け、「住宅宿泊事業法案」の国会での審議の動向を踏まえつつ、「民泊」対策プロジェクトチームとして、本市における「住宅宿泊事業」の在り方について検討を進め、京都市独自のルール作りに取り組むとともに、違法な「民泊」施設の適正化に向けた指導を強化する。

⑧集中的な森林整備に向けた新たな仕組みづくり【林業振興課】

集中的な森林整備をモデル的に実施する地区の選定及び必要な調査を行うことにより、適切かつ集中的な森林整備の実現に向け、林業家の所得向上につながる新たな仕組みづくりを検討する。

(2)「内外への情報発信」～京都の魅力を世界に向けて～

京都が誇る「美」、「知」、「匠」を活かしたものづくりや、「文化観光都市・京都」の魅力を世界に向けて発信し都市格を高めていくとともに、観光誘客や、伝統工芸品、農林產品の販路拡大など、「外から稼ぐ」取組を推進します。

①「京都館」移転の推進【産業政策課】

首都圏における京都の総合情報発信拠点である「京都館」について、情報発信力を向上させる観点から、機能の抜本的な見直しを行い、それを踏まえて京都館のリニューアルに取り組む。



現在の京都館

②伝統産業製品の販路開拓支援～パリ友情盟約締結60周年プレ事業～【伝統産業課】

平成30年に迎えるパリ友情盟約締結60周年に向けた機運の醸成を図るとともに、更なる伝統産業製品の販路開拓を図るために、パリ市において現地のメディア関係者や買付け人（バイヤー）を招へいした国際シンポジウムを開催し、本市の職人とパリ市のデザイナーとがコラボした商品や、京都の伝統産業技術の奥深さを広くPRする。

③「京の技展（仮称）」の開催支援【伝統産業課】

職人の実演や製作体験など、伝統的な匠の技とのづくり技術に触れることができる展示・販売会（京都府中小企業団体中央会主催）について、府とも協調しながら開催に対する支援を行う。

④京都伝統産業ふれあい館のリニューアル事業【伝統産業課】

伝統産業製品の価値や奥深い魅力を伝え、かつ業界の振興に繋がる、より魅力的な施設にするため、展示内容の抜本的な見直しを含めた、館内のリニューアル事業を進める。29年度は、基本設計及び実施設計を実施する。



現在の京都伝統産業ふれあい館

⑤MICE戦略2020推進事業【観光MICE推進室】

高い経済効果の見込まれる国際会議の誘致に的を絞ったMICE商談会への出展など、海外のMICE主催者や事業者等との連携強化を図る取組を進めることで、本市へのMICE誘致を推進する。

⑥京都遺産・伝統文化・匠の技体験型ツアー拡充事業【観光MICE推進室】

京都遺産、伝統文化、伝統産業の工房訪問などの京都コンテンツを活かした文化観光メニューの開発等により、京都の奥深い魅力を発信する。

文化庁移転に伴う、観光による文化の振興を牽引する全国のモデルとなる取組として、「京都の伝統文化、匠の技体験ツアー」の開発・販売支援、京都市認定通訳ガイドの育成強化を推進する。

⑦京都の文化資源の魅力発信事業【観光MICE推進室】

民間事業者と連携を図り、新たな視点で、京都が持つ多彩な文化の魅力を広く発信していくことによって、幅広い層の観光客の誘客と、地域的、時間的な分散化を図る。

⑧「マンガ」を通じた三大祭等の魅力発信【観光MICE推進室】

三大祭の開催PRにとどまらず、文化的背景も含めた三大祭等の魅力をマンガにより分かりやすく伝えることで、三大祭等の振興及び文化の継承を推進する。

29年度は、三大祭等のマンガ作成に向けた企画・構成を進めるとともに、「葵祭」を紹介するマンガ冊子の作成・配布を行う。

⑨混雑緩和に向けた啓発策【観光MICE推進室】

観光バス等の路上待機により混雑が生じている一部の観光地周辺において、市民や観光客の安全性向上の観点から、事業者団体に向けたマナー啓発チラシ等の制作・配布等、道路混雑の緩和に向けた啓発策を実施する。

⑩「世界文化遺産と盆栽・水石展（仮称）」の開催支援【農業振興整備課】

元離宮二条城で開催（9月22日（金）～24日（日）予定）される盆栽・水石展の開催を支援することにより、京都から世界に向けて、本市の魅力ある伝統文化を発信する。

⑪京都発！日本の食文化発見・発信「お雑煮」と「京野菜」の食文化フェア（仮称）

の開催【農業振興整備課・伝統産業課・観光MICE推進室】

日本の食文化を象徴する「お雑煮」を中心に、「京野菜」、「伝統産業」にスポットを当てたイベントを開催し、食文化の情報を発信する。



展示商談会の様子

（3）「育成」～まち・ひと・しごとづくりの推進～

様々な地域活動の推進に貢献している中小企業の支援や商店街の振興、地域の活性化に向けた農林業の振興等を通じて、活力あるまちづくりを推進します。また、中小企業等における担い手確保対策や育成支援、新産業の創造によって、京都の次世代を牽引するひとづくり、しごとづくりを推進します。

①京都中小企業担い手確保・定着支援事業【産業政策課】

「京都市わかもの就職支援センター」を拠点に、求職者向けの個別カウンセリングやセミナーの実施、求職者と中小企業との交流会の開催、WEBサイト「京のまち企業訪

問」※の運営等によって学生と中小企業とのマッチング支援を行うほか、就職後のフォローアップ等を実施し、京都の中小企業の担い手確保・定着支援に寄与する。

また、ブラック企業・ブラックバイトに関する啓発や生産性の高い効率的な働き方の優良事例を紹介するセミナー等を実施する。



京のまち企業訪問 web サイト

※「京のまち企業訪問」URL：http://www5.city.kyoto.jp/kigyo/kg_101.cgi?CT=10

②観光関連産業安定雇用促進事業【産業政策課】

非正規雇用や担い手不足等の課題を抱える京都の観光関連産業分野において、正規雇用の拡大と労働生産性の向上を図るため、京都府・経済界等との連携の下、専門家による相談支援や、首都圏をはじめとする求職者を対象とした市内中小企業の魅力発信を行う。

③京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業の推進【産業政策課】

ビジネスの手法で様々な社会的課題の解決を図ろうとする企業(社会的企業)に対し、認定制度の運用による社会的信用の付与や、京都市ソーシャルイノベーション研究所を核とした産官学金の連携による各種サポート策の充実を図る。

④中小企業事業承継支援体制の強化【中小企業振興課】

事業承継に係る潜在的な相談ニーズを掘り起こし、小規模事業者の円滑な事業承継を図るため、京都商工会議所「事業引継ぎ支援センター」における支援体制を強化する。

＜参考＞事業引継ぎ支援センターの概要

後継者問題に悩みを抱える中小企業の相談窓口として、国が47都道府県に設置

⑤まち・お店・ひと 縁結びプロジェクト【商業振興課】

商店街の活性化を図るため、商店街とNPO法人や学生団体等の外部団体との連携を促進させるとともに、空き店舗所有者と出店希望者のマッチングや出店に伴う初期費用の支援を通じて、空き店舗の解消を推進する。

⑥新たな価値の創造による「知恵産業」推進事業【新産業振興室】

国内外のものづくり(ハードウェア)ベンチャー企業や起業家を京都に呼び込むため、拠点の設置や、起業家等を集めてアイデアや力量を競うイベント(ハッカソン)等の開催に取り組むほか、起業家等と高い技術を持つ市内中小企業とのマッチングを行う。

また、市内の中小企業が、IOTビジネスを円滑に展開できるよう、必要な技術やノウハウ等に関する相談を受け付ける窓口を設置する。

⑦ライフサイエンスベンチャー創出支援事業【新産業振興室】

起業意欲を持つ大学院生や研究者等が円滑に起業できるよう能力開発の支援を行うとともに、ベンチャー立上げ初期の負担軽減等の支援を実施する。

⑧国際マンガコンテストの開催【新産業振興室】

「東アジア文化都市 2017 京都」や、「京都国際マンガ・アニメフェア」とも事業連携のうえ、日本、中国、台湾、韓国在住のマンガ家志望者を対象とした国際マンガコンテストの開催を通じて、京都の魅力を国内外に発信する。

⑨海外とのビジネス交流を促進する地域間交流支援事業【新産業振興室】

オール京都体制の下、日本貿易振興機構（JETRO）と連携し、ライフサイエンス分野において最先端の技術が集積するアメリカ（マサチューセッツ州・ボストン市）とのビジネスマッチングなどの交流を促進することで、製品の共同開発や京都企業の輸出拡大につなげる。

⑩「京都 京北未来かがやきビジョン」の推進（京北地域水産業支援事業）

【農業振興整備課】

河川の環境や生態系の維持・回復を図り、これらを観光資源とした地域の活性化を推進するため、国の交付金を活用し、アユの産卵床調査、ウナギの漁礁づくりや悪化した河川環境保全のための河川清掃など、漁業者等が行う水産業活性化の取組を支援する。

⑪農業集落排水処理施設最適整備構想の策定【農業振興整備課】

右京区京北にある上弓削農業集落排水処理施設は、供用開始後10年以上が経過し、老朽化に伴う修繕が増加していることから、今後の維持管理のあり方を検討し、施設の長寿命化、施設機能の最適化等の計画的かつ効率的な施設運営に向けた維持補修計画の策定を行う。



終末処理施設の外観

⑫北部山間地域活性化プロジェクト【林業振興課】

祇園祭等で用いられるチマキザサや、マツタケ、木炭などの北部山間地域の資源を活かした特産品を地域住民等と連携し、再生していくための環境整備を行う。

⑬木材乾燥施設整備支援【林業振興課】

高品質な木材の安定供給に向けて、木材乾燥施設の整備に対する支援を行い、市内産木材の需要拡大を図る。

＜参考＞木材乾燥施設

木材を効率よく人工的に乾燥させる施設で、品質（寸法安定性など）を高め、製品としての付加価値の向上に資する。

4 平成29年度 予算の概要

1 京都市予算の概要

平成29年度予算は、「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げる京都の未来像の実現に向け、京プラン実施計画・第2ステージの取組を着実に前進させ、「くらしに安心、豊かさ実感、未来に責任」のまちづくりを力強く推進するとともに、京都の最大の強みである「文化力」を基軸として、産業・観光や福祉、教育、地域活性化をはじめとする、あらゆる政策分野を融合・充実させた総合的な施策を展開することで、非常に厳しい財政状況の中で、共汗と融合を徹底し、効果的で効率的な質の高い事業を構築する。

こうした基本姿勢の下、以下の4点を予算編成に当たって重視する。

- ① 京都の最大の強みである「文化力」を基軸として、産業、観光、福祉・子育て、健康長寿、地域コミュニティなどあらゆる政策分野を融合・充実し、京都への全面的移転が決定した文化庁と共に推進することで、京都はもとより、日本を文化で元気にする。
- ② 京都の知恵と強みを活かした成長戦略の推進により、京都経済の更なる活性化と質の高い雇用を創出し、市民所得の向上や中小企業の活性化、ひいては税収の増につなげ、市民が確かな豊かさを実感できる社会を実現する。
- ③ ひとりひとりがいきいきと輝くことのできる健康長寿・福祉のまちづくりを推進するとともに、全国トップ水準の福祉・教育・子育て支援を更に充実させるとともに、防災・減災対策、老朽化対策を進め、市民の安心・安全な暮らしを守るまちづくりを推進する。
- ④ “みんなごと”のまちづくりによる市民協働を更に進め、あらゆる主体の参画の下、地域の多様な魅力と個性を活かしたまちづくりを推進することにより、京都に国内外から人の流れを呼び込み、東京一極集中の打破に挑戦する。

2 平成29年度産業観光局予算の概要

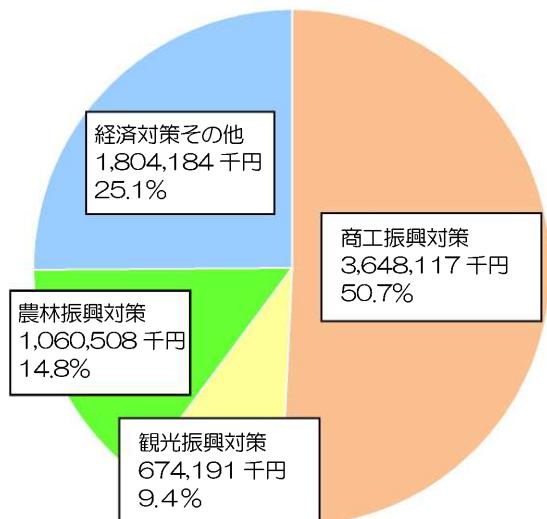
平成29年度の産業観光局の一般会計予算額は約489億円で、前年度当初予算と比べ、約123億円(20.1%)の減、その他特別会計では約63億円を計上し、前年度当初予算と比べ、約11億円(21.8%)の増となっている。

平成29年度予算編成においては、文化庁の京都移転を契機に、「文化」と局内のあらゆる取組との連携を強化するとともに、京プラン実施計画・第2ステージや「京都市産業戦略ビジョン」などに掲げる京都の未来像の実現に向け、地域経済の活性化と質の高い雇用の確保により、市民所得の向上につなげ、ひいては税収の増を目指す。

＜参考＞一般会計予算の規模等

| 区分 | 29年度当初予算 | 28年度当初予算 | 対前年度比較（増減率） |
|----------|----------|----------|----------------|
| 京都市一般会計 | 7,669億円 | 7,277億円 | 392億円 (+5.4%) |
| うち産業観光局分 | 489億円 | 612億円 | 123億円 (△20.1%) |

産業観光局一般会計歳出予算72億円の内訳（給与費約17億、中小企業融資制度預託金400億円を除く。）



| 分野別対策 | 予算額 千円 | 構成比 % |
|--------------|-----------|-------|
| 商工振興対策 | 3,648,117 | 50.7 |
| 創業・新事業創出への支援 | 205,024 | 2.8 |
| 企業立地促進 | 662,470 | 9.2 |
| 新規成長分野への支援 | 393,835 | 5.5 |
| 産業振興対策 | 1,680,642 | 23.4 |
| 商業振興対策 | 85,210 | 1.2 |
| 伝統産業振興対策 | 253,261 | 3.5 |
| 中小企業振興対策 | 367,675 | 5.1 |
| 観光振興対策 | 674,191 | 9.4 |
| 農林振興対策 | 1,060,508 | 14.8 |
| 経済対策その他 | 1,804,184 | 25.1 |